

“奈良県産ニッポンバラタナゴ里親プロジェクト” ニッポンバラタナゴ里親校（奈良市立柳生中学校）の池の水抜き調査

1 趣 旨

近畿大学農学部水圏生態学研究室（活動代表 北川忠生）では、奈良県自然環境課および奈良市教育委員会の協力の下、奈良県で絶滅の危機に瀕している希少野生動物の淡水魚「ニッポンバラタナゴ」を保護するために、様々な個人や団体に「ニッポンバラタナゴ」を預け、保存・繁殖してもらう“里親プロジェクト”を実施しています。

現在、8つの学校がこの活動に里親として参加していますが、昨年度より里親校として活動している奈良市立柳生中学校において、ニッポンバラタナゴの繁殖に成功しました。今回、タナゴが生息しているビオトープ池の水抜き作業を行い、ニッポンバラタナゴとその繁殖に必要な二枚貝（ドブガイ）等の生息状況の確認作業を、中学校生徒（15名）、教員が、近畿大学の学生（6名程度）・教員と共同で実施します。

生き物の取り上げ後、そこにたまったヘドロ等を掻き出してしばらく池を干すことで、来年度の池の環境を向上させます。

2 日 時 平成 24 年 11 月 21 日（水）13 時 45 分～15 時 35 分（雨天決行）

3 場 所 奈良市立柳生中学校 敷地内の生態園ビオトープ池
（生駒好明 校長 〒630-1237 奈良市柳生町 212-2
電話 0742-94-0222）

4 内 容 柳生中学校生態園の池（縦横約 3x5 m、水深約 60cm）について、事前に水抜きをして水位をさげています。この中から中学生と大学生が協力して、生き物を捕獲し、計数します。その後、すべての水を抜いて、底にたまったヘドロ（有機物）をバケツリレー等で運び出します。

5 取材方法 当日 13 時 30 分に中学校正面玄関にお集まりください。事前の内容に関するご質問は、下記近畿大学北川にお問い合わせください。

6 問い合わせ先 近畿大学農学部環境管理学科水圏生態学研究室
准教授 北川忠生（専門：魚類の保全遺伝学）
電話：(0742) 43-6372, E-mail: tkitagaw@nara.kindai.ac.jp

※ 安易な生物の放流は、その地域の生態系や遺伝的多様性を攪乱する危険性があります。今回の放流は、奈良県産「ニッポンバラタナゴ」の保護上の必要性、緊急性を専門的な立場から十分に考慮した上で実施するものであり、外部への流出防止措置等の放流に伴うリスクへの万全の対策が施されています。

